

天地

ネットワーク テーブル 486・新春号

天地シニアネットワーク 2019.1.15

T E N T I T O D A Y		1
会員の広場	<句集(まなざし)><動画>	2
連載作品		2
随 想	米国の統治の仕組みと大統領制、と建国の父たち (1)	佐川 雄一 3
随 想	「静聴雨読庵より」(1)	尾関 陽四 8
随 想	『誰も見てなくても悪いことをしない』社会	臺 一郎 14
随 想	天のわざ、地のほまれー地球を測れ、宇宙を測れ 61・宇宙旅行	伊那 闊歩 15
旅行記	そうだ京へ行こう・古刹の花物語(58) 北野線の古刹2・平野神社	大竹 漢洲 20
講演会	「奈良興福寺文化講座」「新三木会」	22
商品情報		23
事務局		24

T E N T I T O D A Y

1月も半ば、遅くなりましたが“寒中お見舞いもうしあげます”
季節のご挨拶もやや形式的になってきています。早め早めの季節の宣伝、セ
ールにさらされ、季節感がなくなります。マス・コントロールが、気付かぬ
うちに進む、日本人社会の脆さ弱さを感じます。自覚と自立の必要性を改め
て感じます。

『災』が昨年の一文字でしたが、年明け早々に、熊本地方に震度6弱の地震、
報道では、前回より揺れが激しかったようです。年が代わったから『災』は
お終いとはなりません。いつも準備と覚悟が必須のようです。

集中豪雨による被災の復旧は、未だのようですが、広島県の瀬戸内に沿っ
て走るJR呉線(広島ー三原)がやっと全通したとのニュースがありました。
風光明媚な瀬戸内海の景色が取り戻せたのか気になるのですが、新年早々に、
広島在住の伊那闊歩さんから、郊外から市内に転居したという有り難い(?)
お年玉メールが届きました。今年の楽しみができました。

前号でご紹介したとおりに、昨年12月26日朝のNHK「あさいち」で、

徳島県吉野川市美郷で梅酒生産をする東野さん夫妻が紹介されました。梅酒はくオンザロックで、が東野さんのおすすめですが、ビールに2：1の割合で混合して飲むとビールが変身、美味しくなるという新しい飲み方をも紹介していました。早速に試してみましたが。言うに言われぬ美味しさでした。市販の梅酒でも良いので、一度お試しください。なお、東野リキュール製造所の梅酒のご紹介できますので、23ページご覧ください。

正月の箱根駅伝、早稲田が往路で大きく遅れ興味半減、大手町に行くのを止めました。優勝候補筆頭の青山学院も優勝できませんでしたが、往復10人の選手が、同じようなコンディションを保つというのは、至難の技、というのがよく分かりました。正月の風物詩になりましたが、毎年続けられるのは素晴らしいこと、平和無しではできません。

会員の広場

句集・「まなざし」 瓜生信雄

昨年12月にいただき、その中のく春の項から勝手に選句させてもらいました。(津田)

若き師を迎えて句会春めける

収まらぬ火の国の地震春を裂く

大津波港の春を打ち砕き

(東日本大震災 平成二十三年)

風神も一息入れる春の雨

春愁や来し方見遣る阿修羅像

天からの合図待ってる桜かな

囀りやチーズの香る朝の卓

与謝の海掛かる橋立おぼろなる

満天星の花が迎える通学路

春いつもホップステップジャンプで来

領空も領海もなし鳥帰る

一鉢の幸を夕餉に花采和

「動画」 yaku5151 (小泉)

明けましてオメデトウございます。

皆様もお元気で新しき年をお迎えになった事と思います。私も「来年こそ・来年こそ！」と思い続けていました、除夜の鐘三寺巡りを。毎年家の近くで3か寺から除夜の鐘が聞こえてきます。遠くに・近くに聞こえる鐘の音は風情タップリで、日本の伝統を感じていました。

今年は御代替わりの年・・・実行するならと！31日11時半過ぎに家を出て、先ずは菩提寺へ、そしてそこから近い順に2か寺は巡ることが出来ました。しかしその2か寺は撮影する場所が無い。撞木が見えないところにあり撞く姿はどうしても映すことが出来ませんでした。音の違いは捉えられました。お寺さんによってこんなに梵鐘の位置・向きが違うのを初めて知りました。物好きにも程がある！と言われそうですが、私自身は楽しめましたので・・・。煩惱を祓い新しきお代替わりの年を迎える事が出来ました。??

皆様にとって新しき年が良い年になります事を祈念いたします。

「除夜の鐘・三寺巡り」

<https://youtu.be/jlHg0WiMtjg>

連 載

米国の統治の仕組みと大統領制、と建国の父たち (1)

佐川雄一

始めに

今回のテーマ； 米国の統治の仕組みと大統領制、と建国の父たち は、昨年8月、日比谷図書文化館特別研究室モーニングセミナーで2回にわたりお話ししたレポートに基づいています。読者の中には、なぜ！こんな馴染みのないテーマを取り上げるのか疑問を感じる方がいるかもしれません。実を言うと、私も米国の統治制度について学んだことはありません。レポートをまとめる動機は単純なものでした。最近、日本の政治家の間で、“日米はともに民主主義の国家、同盟関係が成り立つのは当然の帰結”、こんな議論が行われているのを耳にします、そしてこれらの見解がメディアでも頻繁に報道されています。このような背景もあって、米国の国家としての生い立ち、統治制度の青写真がどうなっているのか、関心を持ったのが、本レポートを書く契機となりました。素人のレポートですので、ベースとなる資料の選別には細心の注意を払いました。米国政府の広報資料（国務省・駐日アメリカ大使館・アメリカンセンター）、米国の歴史教科書、伝記作家として著名なロン・チャーナウの著作等を参考にしました。さらに、日比谷図書文化館には欧米の貴重な古書を多数保管する内田嘉吉文庫がありますが、この中の一部も利用させていただきました。

レポートの構成は、

その1: 米国の統治の仕組みと大統領制 で米国建国の歴史・国家理念・合衆国憲法・立法/行政/司法の三権分立・大統領制について、

その2: 建国の父たち で建国期に活躍した英雄たちを選んで国家リーダーの

在り方について触れることにします。

その1：米国の統治の仕組みと大統領制

I 植民から建国、国家運営が始動するまでの歴史的背景

1) 北アメリカの植民からアメリカ合衆国誕生に至る軌跡

北アメリカの植民の歴史は17世紀の初頭に始まる。当時の英国・欧州は多数の移民を長距離・長期間輸送する船舶を有せず、天候次第で目的地から遠く離れた海域を漂流するケースも少なからずあった。英国から新大陸への旅は6 - 12週間を要し、航海は、食料不足による飢え、病気・伝染病に対峙する日々が続いた。そして上陸後は寒さと飢え、先住民（アメリカン・インディアン）との戦いが重なり、さらに多くの命が失われた。にもかかわらず、英国は新大陸に移民を送り続け、渡航者の数も増え続けた。その背景として以下の諸点が指摘できる。

- ① 北アメリカの植民地開発でスペイン・フランスに遅れをとっていた英国は、開発のスピードを早めなければならない緊急性を抱えていた。
- ② 植民地開発を進める手段として、英国王は勅許（Charter）を植民地開発会社に与え、英国王の勅許を得た植民地開発会社は、事業資金をロンドンの商人から集め、共同出資会社を設立し、植民地開発と貿易を独占し事業収益をあげる基盤を整えることができた。このシステムは英国の植民地開発の特徴ともいえる。
- ③ 移民の輸送にかかわる海運業にも一定の裁量権を与え、多数の船舶が移住者の海上輸送にからむことになった。
- ④ 当時、革命的ともいえる北アメリカ開発の理念：「自由、平等、人権の保護が保証される生活」は移住者に大きな夢と希望をあたえた。北アメリカへの移住者の多くは英国・欧州における宗教的・政治的抑圧から逃れて、または個人をその技能や意欲にかかわらず世襲的に特定職業に縛り付ける旧世界の硬直した政治・社会・経済パターンから母国を離れる人たちであった。また、これら移住者の中には高度の知性を備えた人たちがおり、新大陸での社会建設に大きく寄与することになる。
- ⑤ さらに新大陸への移住を望んでも海上運賃が払えない人たちには植民地開発会社、海運会社が輸送コストを支弁し、移住を側面的に支援した。

北アメリカの植民地開発会社の代表例として、ジェームスタウンを開発したヴァージニア会社とプリマスを開発したマサチューセッツ・ベイ会社が挙げられる。

ジェームスタウン（ヴァージニア植民地）

ジェームスタウンはイギリスが北アメリカに建設した最初の永続的植民地である。イングランド王ジェームス1世から勅許を得て、植民地開発を統括するヴァージニア会社が1607年設立された。4か月の航海の末に、プエルトリコを経由して、1607年4月チェサピーク湾沿いに上陸、ジェームスタウン植民地を建設する。この町の名前は時の英国王ジェームス1世に

ちなむ。しかし、植民者には悲惨な運命が待ち受けていた。周囲には沼が多く、蚊がいっぱいいる地域に上陸してしまったため、入植者は、マalariaに罹り、上陸時の凡そ100人が、その年のクリスマスには、32人に激減した。これがヴァージニア植民の幕開けである。植民の目的は何だったのか！彼らは、インカやアステカを征服したスペイン人のように、アメリカ・インディアンとの取引を通じて、または暴力で、金や銀、その他貴重なものを得ようと望んでいたのである。しかし、この夢が破れると、新世界での新たな生活を始めることになる。最初の永続的植民地となった歴史的経緯も影響しているのであろうが、建国初期のアメリカ大統領にはヴァージニア出身者が多い。

プリマス（マサチューセッツ植民地）

第2の植民地建設はニューイングランド マサチューセッツのプリマスである。102人の移民を乗せて英国を出港したメイフラワー号が1620年9月16日、マサチューセッツのプリマスに到着するが、彼らはニューイングランド地方に移住する最初の永久移民となった。プリマスに移住した人たちの目的は、ヴァージニアの入植者たちとは大きく違っていた。「自分たちの信仰を貫くことができる場所」を求めて移住してきたのである。彼らはピリグリム・ファザーズ（巡礼父祖）と呼ばれた。

ピリグリム・ファザーズの後に、もう一つの英国移民の集団が、ニューイングランドにやってくる。彼らは、英国教会を「清め」、変革することを求めていた清教徒と呼ばれる人たちである。ピリグリム・ファザーズ、清教徒の移住が始まった直後は、飢え、疾病、アメリカン・インディアンとの戦闘等で植民地の人口は伸び悩むが、移住者を輸送する船舶は途切れることなく増え続け、生活基盤の整備とともに人口は増えていく。植民開始から17世紀末までの人口推移を下記する。

年月：	<u>1620/12</u>	<u>1621/4</u>	<u>1621/11</u>	<u>1623/7</u>	<u>1627/5</u>	<u>1630/1</u>	<u>1643</u>	<u>1693</u>
人口(人)：	99	50	85	180	156	約300	約2000	約7000

その後も、植民地域は広がり、ニューヨーク、ニュージャージー、デラウェア、ペンシルヴァニア、バーモント、ロード・アイランド、コネチカット、メリーランド、ノース・カロライナ、サウス・カロライナ、ジョージアと13の植民地に広がる。

2) どのような人たちが北アメリカに移民したのか？

北アメリカに移住した人たちの中には、一獲千金を夢見て移住した人たちもいたが、その多くは、宗教・政治的迫害から逃れ、或いは自由・平等を束縛され、起業が認められない閉鎖的な英国・欧州社会に不満を募らせ、北アメリカでの新たな生活に希望を託した人たちであった。

もうひとつのグループは、海上運賃を支弁されて渡航する契約労働者たちである。契約労働者は、ニューイングランドを除く他植民地に移住した人たちの半分に上ったというから、建国期の北アメリカ開拓の大きな塊であったと考えられる。植民初期の移住者はイングランド・スコットランド・ウェールズ・アイルランドが圧倒的多数を占めたが、その他に、スエ

ーデン、ノルウェイ、オランダ、フランス、プロシア、ポーランド、等、多岐に亘った。今日でもアメリカに移住する人は後を絶たないが、移住者を引き付ける魅力（今は困難に直面していても、努力を重ねることで未来は開けるとするアメリカン・ドリーム）は17世紀初頭、既に存在していたのである。

他方、移住を望んでも海上運賃が払えない人たちには上述した通り、植民地開発会社或いは海運業が海上輸送コストを支弁した。目的地に着くと契約労働者（期間：4-7年）として農業、他作業に従事、契約期間が終了すると自由市民となり、一定の土地が支給された。元契約労働者に対する現地社会の偏見・差別はなく自由人の地位を獲得した後は、地域の中心的人物になる人も少なからずいた。この他に、労働力不足を補うため、ジョージア州（13植民地に加わる最後の州、1732年植民を始める）では囚人を迎え入れ、刑期を終えれば、彼らにも自由市民と同じ人権・権利が保障された。英国の哲学者：ジョン・ロックは、北アメリカ植民地の統治形態を「統治者と市民の間で合意された社会契約（Social Contract）」と定義したが、後の独立宣言でも明らかになるが、『すべての人民は生まれながらにして平等である』（all men are created equal）とする植民地設立時の理念が統治者と人民の間で広く共有されていた。しかし、個人の自由意志が全く無視された形でアフリカ大陸からアメリカ大陸に強制連行された人たちがいたことを忘れてはならない。

総括すると、北アメリカへの移住者は、3つのグループで構成されていたことがわかる。自由市民、契約労働者、黒人奴隷である。その中で、平等と自由の権利が認められたのは、自由市民と契約労働期間を終え自由市民の地位を得た契約労働者に限られた。

「社会契約」の代表例として「[メイフラワー誓約](#)」（統治計画書）がある。1620年 [9月16日](#)、ピリグリム・ファザーズを乗せてプリマスに着いたメイフラワー号の船上で行われたメイフラワー誓約である。「新天地で生存・繁栄するための基本原則を整理し、規則の厳守を誓い、自らの自治のために同意した社会契約である、併せ、国王に対する忠誠と多数決ルール」を採り入れ、成人男子41名が誓約に署名した。



メイフラワー号

1607年ジェームスタウンに最初の植民地が建設されてから僅か12年後の1619年にはアフリカ大陸から黒人奴隷がジェームスタウンに到着している。黒人奴隷も当初契約移民（一定期間の就労後、自由市民の権利が保障される）の対象として議論された。しかし、南部諸州では綿花・タバコ・その他農作物の生産が拡大するにつれ深刻な労働力不足に直面する。

1660年ごろになると、南部の農園主から、黒人契約労働者の扱いに強い不満が噴出した。その結果、黒人には自由・平等が与えられず、奴隷制が定着することになる。それにしても、なぜ アフリカ大陸から大量の黒人奴隷が長期間にわたりアメリカ大陸に連行されることになったのだろうか！この背景には、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカを結ぶ三角貿易の存在が指摘される。ヨーロッパの商人が武器や雑貨をアフリカ西海岸に運ぶ。ここで得た収益でアフリカの奴隷を大量に北アメリカに運ぶ、北アメリカの南部で綿花・タバコ・皮革類・農作物を買い付け、ヨーロッパに運ぶ。この三角貿易から巨額の利益を享受した商人たちがいたのである。

3) 北アメリカに渡った移住者はどのような国造りを目指したのか

アメリカ大陸に渡った移住者たちが目指した国家像は、国家の権限・責任を制約し、人民の権利を保護する、すなわち「人民の生命・自由・財産を保護する目的でのみ国家権力が行使される」、「すべての人民は平等である、そして人民には、生命、自由、幸福の追求を求める不可分の権利が与えられる」この言葉に要約される。移住者が目指した国家像・国家と人民の関係が、「独立宣言」、「合衆国憲法」で体现されることになる。

4) 英国支配からの決別、独立志向を高揚するアメリカの植民者たち

欧州からの移民が増え、英領北アメリカの社会・産業基盤が整備されていくが、同じく北アメリカに基盤を築いてきたスペイン、フランスとの覇権争いも激化していく。

北アメリカの13植民地を支配下に置く英国とカナダ・アメリカ西部にまたがる広大な地域を支配下に置くフランスとの間で、英仏戦争 (French and Indian War, 1754 - 63年) が起こる。英国正規軍の要請を受けてアメリカの植民者がフランス軍との戦闘に参加するが、植民者が戦場に送ったのは植民地の地域防衛にあたる民兵であった。その中には、ヴァージニアの民兵(現在の州兵に相当する、米国独特の予備兵力)を率いて参戦し、後に初代大統領になるジョージ・ワシントンもいた。戦争は9年に及んだが、最後は英国に勝利をもたらす。

しかし、英国は英仏戦争で多額の戦費を遣い、本国の財政が困窮する。英仏戦争に勝利した英国は、フランスの脅威が当面除かれたとして、植民地の議会を無視して各種の直接税や新たな法律の適用で植民地支配の強化に動き出した。1760年代後半から70年代にかけて英国は、歳入増を図るため、砂糖、印刷物(新聞、雑誌、書籍)、酒・茶・紙・ガラス・ペンキ等の日常必需品に対する課税を賦課する。1764年に英国議会が制定した砂糖法は、植民者の生活を苦しめることになり、激しい反発を受ける。この時点で、英国政府は、すべての北アメリカの植民地に対し「議会を持つ権利と議員を選ぶ権利」を与えていたのである。そのため、自分たちの立法機関の代表者以外には、誰も税を課すことはできないと英国政府に反論、課税拒否の動きに出た。

このように事態が緊迫していたとき、英国政府は経営悪化に陥っていた東インド会社の救済策として、植民地における茶の輸入・販売を東インド会社に独占させる政策を発表する、この身勝手な英国の対応に激怒した住民が、1773年ボストン湾に停泊中の英国の貨物船に乗り込み、東インド会社の船荷

である紅茶を全量ボストン湾に投げ捨て、英国政府に抗議した。(ボストン茶会事件、1773年12月16日)

この植民者の動きに英国政府は憤り、マサチューセッツ植民地の自治権を極度に制限する挙に出た。これに対抗するため、13植民地は自分たちに与えられている自治の保護と植民者の将来について意思疎通を図り、事態の収拾に動く。ジョージアを除く12の植民者代表が一堂に集う第一回大陸会議(1774年9月-10月)がフィラデルフィアで開催され、植民者に不当な経済的な困難を与える多くの条例を英国政府が撤廃するまで、英国製品をボイコットすることを決議する。この時点ではまだ、独立戦争に踏み切る決議はなされなかったが、時代の流れは独立戦争へと向かっていた。(つづく)

「静聴雨読庵より」

尾関陽四

「生きがい」の5つの型 (1)

=1=

「やあ、いらっしゃい」

「お邪魔します」

「以前から来てもらおうと考えていて、ようやく実現しました」

「というと？」

「昨年までは、人を迎え入れるような状態じゃなかったのですよ」

「体調不良ですか？」

「いえ、部屋の中が片付かなかったのです」

「われわれの世代では、部屋が片付かなくなってしまった家庭が多いようですね」

「夫婦で暮らしていて、どちらかが、心身どれかの不調に陥るとします。もう片方がそれをカバーできなくなると、もう人を受け入れることはできなくなるわけです」

「私の周りにもいますね」

「おそらく、来客を歓迎しない世帯の割合は5割に達しているのではなからうか」

「かといって、それを責めるわけにもいきません」

「私は、来客拒否から来客歓迎に替わった稀有の例かもしれません」

=2=

「私が君にメールをしたのは何年前だったかな？」

「15年くらい前だったと思う」

「なかなかメールが届かなくて」

「あの頃の私は無頼な生活をしていて、高校のクラスメートとも連絡を取っていなかったのよ、君からのメールにびっくりしたよ」

「私もクラスメートで親しくしている人がいなかったものだから、メールしてみたわけだ」

「あのメールにはほんとに救われたような気分だった。社会とのつながりを一つ回復したと思ったもの」

= 3 =

「それで、体調はどう？」

「幸い、生活習慣病以外には気にしているところはないね」

「それは良かった」

「数年前、人間ドックの検便で血が混じっているといわれ、大腸内視鏡の検査を受けたことがある。結果はセーフだったけど、検査までの3週間は悪い方のことを考えて落ち着かなかった覚えがある」

「私はこのところ目が霞んで、本を読むことができなくなっている」

「それは困ったね。読書魔の君が本を読めないとは」

「来年にも、白内障の手術を受けようと思う」

「わあ。私も、今のうちに、読みたい本（注1）を読んでおかななくては」

「このところ、同じ世代の集まりでは、話題の中心はまず体調だね」

「そういう歳になったということだ。腰の具合は？」

「相変わらず、リハビリの先生に診てもらったり、カイロプラクティックをしてもらったりしている」

「それで良くなったの？」

「良くなったり悪くなったりだね。昔ランナーとして走っていたころの調子を取り戻したいと思って、リハビリに励んでいるのだけれど」

「でも、普通に考えれば、それは難しいんじゃないの？」

= 4 =

「最近は何しているの？」

「親を看取り、古本屋も廃業して、今は、将棋の普及・指導に生きがいを見出しているところだ」

「将棋は以前からやっていたの？」

「小さい頃から将棋は指していたが、普及・指導に乗り出したのはごく最近だ。英語が使えること、ボランティア気分が味わえること、ヨーロッパに行く口実ができること、などですっかりこの活動にはまったわけだ」

「頭も使うだろうから、ボケ防止にも良さそうだね」

「それは考えていないが、まあそんな効用もあるかもしれない」

= 5 =

「ところで、中国語はどうなった？」

「2年間上海の大学に留学したけれども、それでやめた」

「また、どうして」

「若い頃と違って、飲み込みの遅さに嫌気がさしたこともある。所用で上海の銀行に行ったのだが、そこで中国語で話しても、行員にまったく通じないのさ。英語に切り換えて用は足したけれども」

「君は語学の才能があったのに。英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語を修得して、初めて、中国語で躓いたわけか」

「そういうことになる」

「ところで、中国語を修得しようとした目的は？」

「特に深い訳はない」

「貿易の仕事で中国人との折衝があるとか、魯迅を中国語で読みたいとか、普通、動機があると思うけれど」

「私にとっては、外国語は手段ではなく目的だ。語学そのものに興味があるんだ」

「それで、何種類も外国語を修得した訳か」

= 6 =

「将棋以外に興味のあることは？」

「クラシック音楽を聴くことと質の良い読書を心がけることだ」

「ずいぶん、平穏な暮らしになったわけだね」

「そう、今のこの歳になると、自己実現や社会貢献に生きがいを見出すことは難しいと感じている」

= 7 =

「自己実現とは？」

「人生の中で、学業に励む時期と成功を夢見て励む時期があるけれども、それらの時期の生きがいの動機を自己実現と表現してみた。これは、アメリカの心理学者でズロー（注2）が人間の欲求 Need の型の一つとして提唱したもので、彼は SelfActualization の欲求と呼んでいる。それを私は生きがいの型の一つとして援用している」

「自分の夢を果たしたいという欲求か」

「人間には誰でも夢がある。子ども時代には、大きくなったら、看護師さんになりたい、だとか、ユーチューバーになりたい、などと夢を育むものだ。また、成人すれば、出世して成功したい、だとか、子どもを一人前の音楽家にしたい、とか野心を抱くものだ。それらの動機が自己実現と評されるものになる」

「難しいけれども、何となくわかる」

「自己実現とは誰でも持つ根源的欲求といえるものだ」

= 8 =

「それで、社会貢献とは？」

「自己実現が自分の夢や野心を実現しようという欲求であるのに対し、社会貢献は、他人のために何か役に立ちたいという欲求のことで、マズローはこの欲求の型を尊敬 Esteem の欲求と定義している。つまり、周りから尊敬されたいという欲求のことだ」

「尊敬されたい欲求か」

「これだと少しわかりづらいので、周りから尊敬されたいとして行う行動という意味で社会貢献力と言い換えてみたいと思う」

「社会というとどこまで指すの？」

「狭く解釈すれば、社会そのもの、町内会や同好会も入る。広く取れば家族も含めていいかもしれない」

「すると、社会貢献の活動には、NPO 法人の活動、ボランティア活動、町内会の役員、同好会の幹事のほかにも、例えば、親や配偶者の介護なども含まれるわけか」

「その通り」

「周りから尊敬を受けたくて、このような社会貢献活動に足を踏み入れる人は多いね」

「そのきっかけが、サラリーマンの場合、定年退職(注3)になるわけだ」
「なるほど」

「サラリーマンは定年退職すると、それまでの屠場所を急に失い、社会とのつながりが断たれたことに気づき愕然とする。君も経験したと思う」

「突然、アゲハ蝶研究会や長唄の同好会に入った友人もいたね」

= 9 =

「私の場合、仕事で出世することを早々とあきらめ、家族もないので、定年退職時には、自己実現にこだわる動機はなくなった。しかし、実は、定年退職後は19世紀歴史文化の研究(注4)に没頭しようと考えていた。自己実現の最後のあがきだったかもしれない。それが、母の世話と介護に身を置くことを余儀なくされ、研究は中断することになった。これが、社会貢献に転じるきっかけになったわけだ。」

「いずれ、研究に復帰するつもりはなかったの？」

「あった。でも、無理だとも思っていた。やがて、将棋のクラブを組織したり、古本屋を営んだりしていくうちに、研究に戻る気は失せた」

「もったいないね」

「ちょうど、将棋の普及・指導の活動が格好の社会貢献の場になった」

ニ 10 ニ ・

「君の場合は自己実現から社会貢献にスムーズに移行したようだが、私は、君の定義に従えば、自己実現にこだわるタイプかもしれない」

「君は学業でやり残したことがあると、引きずっているのではないかな」

「そうかもしれない」

「そういえば、君は、仕事から引退したあと、アメリカの大学に留学したこともあったね」

「ワシントンのテンプル大学に留学した」

「天下の学窓に育った人間が、レベルを大きく落として留学とは！とやや違和感を覚えたことがある。小椋 佳も銀行を退職した後、どこかの大学院に入学したそうだが、何をやり残したとを感じるのだろう」

「私の場合、勉強が楽しいのだ。また、若い人の精気を吸収する楽しみもある」

「アメリカの大学への留学も中国語を修得するための上海留学も、今一つ動機が希薄で、私にはわからない」

「繰り返すと、勉強そのものが楽しいのだ。これまでやり残してきたことはいくつもあるが、例えば、量子力学にしても、どうアプローチしたらいいかは理解したつもりだ。でも、その先に進む勇気が湧かないのだ」

「それで、量子力学でノーベル賞を狙うつもりかい？」

「そんな大それたことは考えていないが」

= 11 =

「人の生きがいはそれぞれで、自己実現に生涯没頭する人もいれば、自己実現から社会貢献に切り換える人もいる」

「いや、君の議論を聞いていて、いつまでも自己実現にこだわる人を軽んじているのではないかと思った」

「そう受け取られたのであれば、申し訳ない。自己実現と社会貢献は、どちらが優れていて、どちらが劣っているというものではない。両者とも、人の中に生きがいとしてDNAのように組み込まれていて、それが、成長の過程、環境の触発などによって表に強くあるいは弱く発現するのだと、マズローも言っているところだ」

=12=

「それで、君の説に従えば、サラリーマンの場合、自己実現の次に社会貢献が来る。その次は？」

「それで困った。例えば、定年退職をした人が、家族の介護や地域の町内会の役員などの社会貢献活動に従事したとしよう。しかし、いずれ、介護の大家族を看取り、町内会の活動にも一段落がつくと、さて、ほかに社会貢献活動として何が残っているだろうか、と戸惑うことになる」

「ちょうど、心身ともに衰えを自覚し始める頃だし」

「そう、これ以上生きて、何が生きがいなのかと煩悶し始めるわけだ」

「今の君はそうなの？」

「そう、その通り」

「私は君のいう自己実現こだわり派だから、社会貢献の末の空虚感を実感することはない」

「うん。そこで考えた。自己実現や社会貢献を目指す人生は終えたとして、ほかに生きがいはないのか？ と」

「それで」

「自己実現でもなく社会貢献でもない生きがいを世界観照としたらどうか、ということだ」

「世界観照？」

「うん。もう今のわれわれは、君がいうように、心身ともに衰えを感じ始めている。世の中に影響を及ぼす存在ではなくなっているわけだ。そのような自覚のもとで、世界をじっと見る。それが世界観照だ」

「世界をじっと見つめてどうなる？」

「どうにもならない。ただ、個人の生き方としてはあり得る選択だと思う。そして、世界がもっと穏やかになるように、とか、人々がいがみ合うことが少なくなるように、とか祈ることはできると思うのだ」

「そうか、祈りの境地（注5）か」

「でも、そのためには、感受性を磨き続けていなければならない」

「なるほど」

「さきほど、クラシック音楽を聴き、良質の読書を心がけている、と話したのにつながることだ」

「感受性を失ってはならない、ということだね」

「これから、いつまで認知症にかからなくて済むかわからないが、感受性だけは失いたくないね」

「それが、君の生きがいの哲学か」

「そう。君は量子力学でノーベル賞を目指し、私は生きがいの哲学でイグ・ノーベル賞を目指す、というわけだ」

「ははは。見果てぬ夢だね」

（つづく）

注：

(1) 「須賀敦子全集」(河田文庫)、レイモンド・チャンドラーの推理小説(村上春樹訳)、モンテニユ「エッセー」(宮下史朗訳)、P 花田清輝著作集」など。

(2) でズローは、心理学の立場から、人間の欲求の5つの「型」を析出した。本稿で触れる「自己実現の欲求」「尊敬の欲求」のほかに、

「前屈と愛 Belongness and Love の欲求」「安全 Safety の欲求」「生理的 Physiological 欲求」の5つだ。彼の提出した欲求の型を、彼の弟子や賞賛者が「欲求段階」に再構築した。つまり、人間の欲求は、生理的欲求から始まり、安全の欲求、所属と愛の欲求、尊敬の欲求へと徐々に昇華していき、最後に自己実現の欲求に到達する、というのが欲求段階説だ。

しかしながら、本稿でも触れるように、人間が成長・成熟していく過程を見ると、必ずしも、自己実現の欲求が人間の欲求の最終段階であるとはいえないことがわかる。そのため、私は、マズローの欲求の型の析出には敬意を払うものの、その弟子や賞賛者の提唱する欲求段階説には与しない。

(3) 自営業者の場合は定年がないので、自己実現と社会貢献の差を認識することが少ない。例えば、商店主は自らの商売に尽くす一方で、普段から、商店街の活性化などに心を砕いていて、若くから、自己実現と社会貢献をない交ぜにした生活を選っている。

弁護士や医師などの専門職は、その仕事柄、「スモン病患者を救う会」や「一票の格差是正運動」など、現役時代から社会貢献活動に取り組んでいる人が多い。その意味で、自営業者に近いかもしれない。

芸術家は自己実現が長く続く職種の典型で、絵描きや書道家は、いくつになっても「まだ、うまくなれる」と信じていることができる。芸術家の中で、演奏家は、自己の技量の行き止まり・衰退を自覚しやすいため、その頃が、自己実現から社会貢献への転機となる。

(4) アメリカのヘンリー・D・ソロー Henry D. Thoreau とイギリスのウィリアム・モリス William Morris を対象にして、現代文明への懐疑の在りようを研究しようとするもの。

(5) 身近なところでは、五木寛之が、孤独を恐れるな、とか、仏教への帰依とかを説いているのが祈りの境地に当たる。

参考資料：

A・H・マズロー (小口忠彦訳) 「人間性の心理学」(1987年、産業能率大学出版部)

A. H. Maslow 'Motivation and Personality' (Second Edition, 1970, Harper & Row Publishers, Inc.)

『誰も見てなくても悪いことをしない』社会 臺 一郎

今から約 20 年前の西暦 2000 年に、海外から我が国を訪れた外国人数いわゆるインバウンドの外国人旅行者数は 480 万人であった。その人数は 10 年後の 2010 年に 860 万人まで増加したが、2011 年に東日本大震災が発生したため、一旦 620 万人まで落ち込んだ。しかし翌年には再び増加基調に戻り、2013 年には 1030 万人を超え、2015 年にはほぼ 2000 万人となった。そして、昨年 2018 年の 12 月 18 日について 3000 万人を突破した。この趨勢が続けば、2020 年にはオリンピックも開催されるために、下手をすると 4000 万人近くまで増加する可能性さえ見えてきた。

なぜ最近の 10 年間ほどで、訪日外人数がこれほど急激に増加したのだろうか。いくつかの要因や理由が考えられる。

第一に安倍内閣の誕生で円安基調が定着し、海外から日本への旅費がぐんと割安になった。

第二に中国や東南アジア各国の国民所得が上り、旅費が安く飛行時間も短いアジア各国からの観光客の数と比率が急増した。

第三に我が国は温帯モンスーン地帯に位置し、春夏秋冬の四季が明確で折々の自然景観や料理が楽しめる。

第四に我が国は現代文化と歴史文化、都市文化と農村文化、アナログ文化とデジタル文化、西欧文明とアジア文明のように、異質の文明や文化が共存・共生する国でそれが魅力になった。

第五に日本政府による国際観光地としての PR や宣伝が活発に行われ、関税や入国ビザなどの面でも便宜や規制緩和が図られた。

第六に旅行者に対する我が国ならではのおもてなしの精神や歓迎行動が喜ばれた。

第七に東京のような大都市でも清潔で安全で治安が良く、人々のモラルや民度の高さが評価された、などである。

さて、本稿ではこれらの要因のうち、最後の 7 番目にあげた、日本人のモラルや民度の高さについて例を上げて考察してみたい。それは一言で言うなら、日本社会は『誰も見ていなくても悪いことをしない社会』だということである。例えば地方の道路の真夜中における交差点の様子に着目してみよう。

「赤信号みんなで渡れば怖くない」。これは北野武が若いころに流行らせた有名なフレーズだ。当時はなるほどうまいことを言うものだと感心した。

これが欧米だと、歩行者はたとえ横断歩道の信号が赤であっても、車が来なければ自分の判断と責任でさっさと渡ってしまう。車が全くいないのに、信号が赤という理由だけでジッと待つのはナンセンスと考えるわけだ。つまり「赤信号、自己責任で渡る分にはかまわない」という思想なのだ。だから北野武が流行らせたようなフレーズは、欧米や中南米の人々には受けないだろう。

世界的に見れば、日本の社会は正直で善良で常識のある人間がとても多い。たとえば小学生以上の国民のほぼ全員が、信号が赤になれば人も車も止まる

べきことを法的知識として知っていて、しかも小さいときから「正直者になりなさい」「規則はきちんと守りなさい」と教育される。そして、お上のつくった法律や条例は、例え不合理やナンセンスな面があっても、それを無視するとか違反することに罪悪感や抵抗感を抱いてしまう。結果、走行している車などほとんどいない真夜中の田舎の道路でも、前方の信号が赤ならばほとんどの車が止まるのである。

筆者も若い頃は「信号機は単なる機械。機械に人間がコントロールされるのはナンセンス」と思ったりした。けれども最近はこのバカ正直で規則や法律を無視できない、すなわち「誰も見ていなくても悪いことをしない」「誰も見ていなくても正しいことをしてしまう」人間の多いことが、我が国の安心や安全や優れた秩序に繋がっていると思うようになった。

日本人のこうしたバカ正直さというか、クソ真面目な順法精神や道德感、道路交通の問題に限ったことではない。農村部における野菜の無人店舗での販売もそうだし、道を歩いていて誰かが落としたりした財布や鍵を見つけたら、当然のように最寄りの交番か警察署に届けるという行為もそうだろう。

正直で善良な人間の多いことは、日本ならではの素晴らしい国民性であり社会特性である。我々はこのことをもっと誇って良いと思うし、未来永劫にわたって継承していきたいものである。

天のわざ、地のほまれ

—地球を測れ、宇宙をはかれ—

伊那 闊歩

61. 宇宙旅行

前回、相対性理論の創成期から存在する有名な問題のひとつ「双子のパラドックス」について考えた。光速に近いスピードで宇宙旅行してきた兄(太郎)の方が、地球上にとどまっていた双子の弟(次郎)よりも歳をとるスピードが遅く、若いままにいるというのであった。いわゆる「浦島太郎の物語」は現実には起こり得るということであった。これを特殊相対性理論の枠内で考えたのであるが、少々不自然な設定を行っていた。つまり、兄が乗って航行する宇宙船は、出発時に一瞬のうちに光速の80%ものスピードを得て、そのまま目的地に達し、一瞬のうちに反転して再び光速の80%のスピードで地球に帰還するというのであった。こんなことは、とてもじゃないが実現不可能だ。

そこで、テレビでの宇宙船打ち上げシーンに見られるように、ゆっくりと打ち上げ徐々に加速する方法を採るとして「宇宙旅行」してみよう。

「ゆっくりと」とはいえ、宇宙船の打ち上げの際、搭乗している宇宙飛行士は、地上での重力の3～6倍ほどの重力に相当する加速度(3g～6g)を受ける。宇宙船の推力は重力加速度： $g = 9.81[m/s^2]$ を単位(基準)として測られるのだ。宇宙船の推力によって人が受ける見かけの力は重力と同等の効果をもつ、つまり、人が地上で受ける重力とこの見かけの力とは、効果としての区別ができない。この事実は、一般相対論を構築する重要な原理のひとつであって、これを「等価原理」とよんでいる。

いつのことになるかわからない未来の話だが、太陽系外の別世界を目指して宇宙船が打ち上げられたとしよう。この宇宙船は地球の引力圏を脱出した

後、1g（1グラムではない！念のため）で加速しつづけながら航行する。搭乗者は、1gの見かけの加速度、つまり、地上で受ける重力加速度に相当する加速度をうけるのであるから、力学的には船内で地上とまったく同じ状態を保って生活できるわけである（ふわふわ浮くのではなく、うっかりすると宇宙船の底に落下する）。1gで加速しつづけているかぎり、船内は地上と変わらない。

さて、この宇宙船に乗ったとして、果たして太陽系の外の星までたどり着くことができるのであろうか。目的地に到達する前に人の寿命が過ぎてしまったらこの宇宙旅行の意味がない。また、人が一生この宇宙船に乗りつづけたなら、どれほど遠くまで行くことができるのであろうか。その答はまさに驚くべきものであった。

まずは、古典（ニュートン）力学の公式にしたがって宇宙船のスピード $v = gt$ （ t は時間）が光速 c に達するまでの時間を数値計算してみよう：

$$t = c/g = 300,000,000/9.81 = 30,580,000 \text{ 秒} = 354 \text{ 日}$$

つまり、この宇宙船は354日航行を続ければ、そのスピードが光速に達するのである。地球から宇宙船への距離 x は $x = (1/2)gt^2$ であるから、宇宙船のスピードが光速に達した時には

$$x = \frac{1}{2} \times 9.81 \times 30580000^2 = 4.5868 \times 10^{12} \text{ km} = 0.4848 \text{ 光年}$$

宇宙船は地球から約0.5光年離れた宇宙空間を航行中であることがわかる。宇宙船が光速を超えることはなく、光速に近づいてくれば相対論による修正が必要となる。

特殊相対論は、基本的に物体の運動の速度（スピードと方向）が一定の慣性系に対して有効な理論なので、物体の加速度を扱うのは苦手なのである。加速度の計算が避けられない場合は、一般相対性理論に任せなければならないと考えられている。とはいえ、現実には特殊相対論の枠内で解決できることが多いのだ(*1)。この宇宙船の場合、相対論の効果をとりいれて計算した結果：

$$v = \frac{gt}{\sqrt{1+(gt/c)^2}}, \quad (v = gt)$$

$$x = \frac{c^2}{g} (\sqrt{1+(gt/c)^2} - 1), \quad (x = \frac{1}{2}gt^2)$$

となる（計算の詳細は(*2)を参照されたい）。右側の括弧内の数式は、古典力学によって計算された v と x の公式である。ここで

$$\frac{c^2}{g} = 9.174 \times 10^{12} \text{ km} = 0.97 \text{ 光年}$$

であるが、これが約1光年になっていることは偶然とはいえ興味深いことである。ここに得られた宇宙船の相対論的なスピード v と地球からの距離 x のグラフを描いてみると次のようになる（fig. 1, fig. 2）。fig. 1の縦軸は宇宙船のスピード v 、横軸は地上での打ち上げ時を $T = 0$ とした宇宙航行の経過時間。ただし、 $T = 1$ の時 $v = c$ （光速）となるように単位を調整している。赤色の直線は $v = c$ 、すなわち、この世で実現できるスピードの上限

をしめしている。青色の直線は古典力学（ニュートン力学）によって計算されたスピード：約1年後に光速に達し、光速を突き破ってのびているが、こんなことはありえない。黒色の曲線が相対論的速度曲線である。Tが大きくなっても決して赤線を超えることなく、赤線を漸近線として無限にのびるのだ。

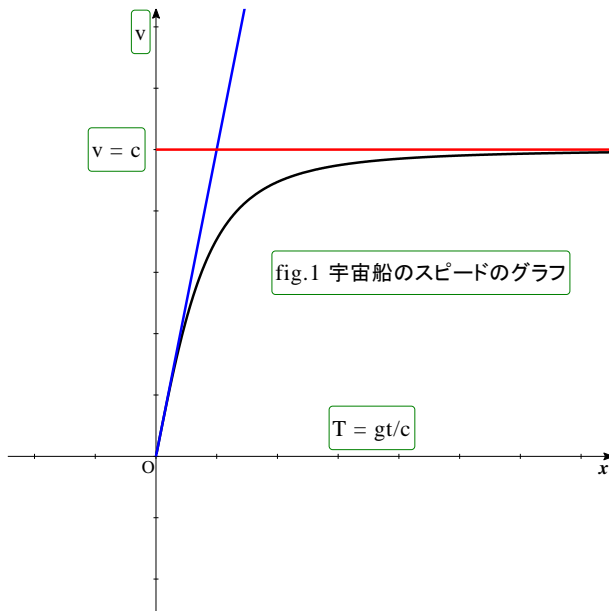
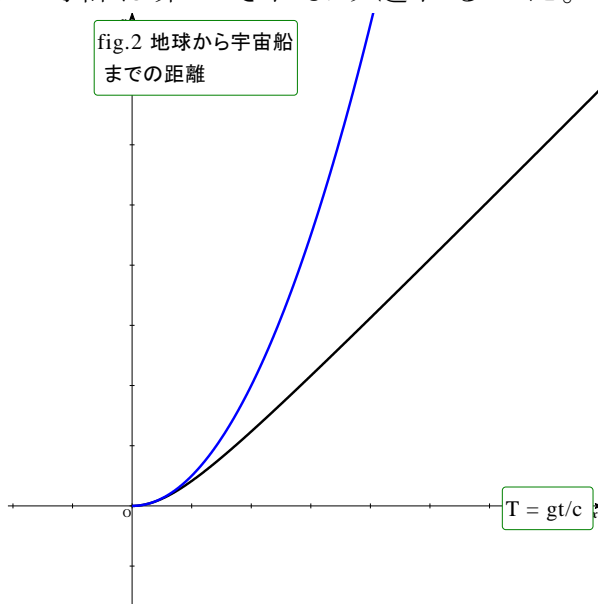


fig.2 の横軸は fig.1 のそれと同じだが、縦軸は打ち上げ後、地球をはなれていく宇宙船までの地球からの距離である。青線は古典力学で計算された距離 x の曲線。黒線は相対論による曲線である。青線は性急に地球からはなれて行くが、相対論による修正をくわえられた黒線上の宇宙船は比較的ゆっくりと離れて行くのだ。

ここで時間 T は、地上の弟の時間なので、兄の時間はまた別物である。兄が宇宙船の中で測る時間を τ としよう。相対論の教えるところによれば、兄の時計は弟のそれより遅れるのだ。



等加速度 g で運動する宇宙船の時間 τ と地上での時間 T の間の関係も計算されていて、次のような公式によって与えられている： $T = \sinh \tau$.

ここで \sinh は指数関数を組み合わせて作られるハイパボリックサイン関数(*2)と呼ばれる関数で、それをグラフとして描くと fig.3 の黒い曲線のようになる。

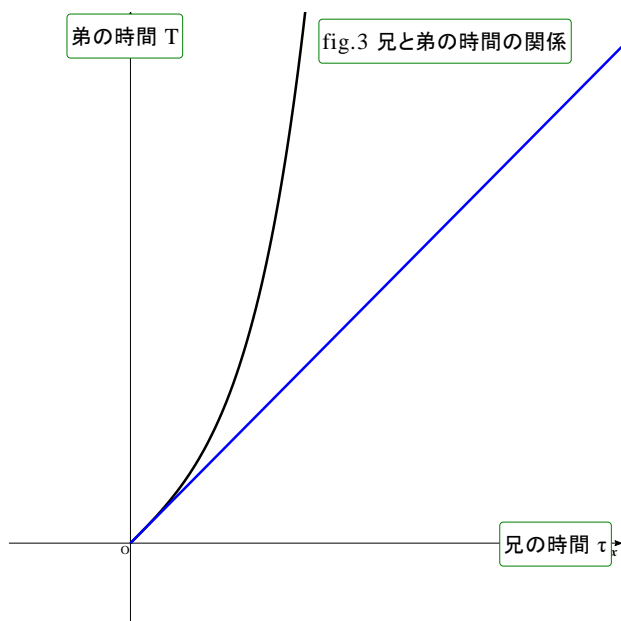


fig.3 の傾きが 45° の青い直線は、兄の時間と弟の時間が同じスピードで経過する時の様子を表しているが、これに相対論的な効果が加わるとそれが、黒線になり、弟の時間経過に比べて兄の時間経過が遅くなっていく様子が見える。

以上、等加速度 $1g$ で航行する宇宙船に対する相対論的効果を調べてきたが、ここで、最後にこの宇宙船でどこまで遠くまで行けるか見てみよう。次の表にはいくつかの数値計算の結果が掲げられているが、これらは、たいへん優れた特殊相対論の教科書：Costas Christodoulides「The Special Theory of Relativity」から引用させていただいた：

天体名	地球からの距離	地球時間（弟）	宇宙船時間（兄）
太陽系外縁	0.43 光年	1 年	321 日
α ケンタウリ	4.4 光年	5.26 年	2.32 年
シリウス	8.6 光年	9.5 年	2.89 年
アンドロメダ銀河	2,500,000 光年	2,500,000 年	15 年

前回でも言及した α ケンタウリ (距離 4.4 光年) には、弟の観測によれば 5.26 年で到達するが、兄の時計によれば 2.32 年で到達する(*4)。オオイヌ座の主星シリウスまでの距離は 8.6 光年で、弟の時計では 9.5 年で到達する筈であるが、兄の時計では 2.89 年しかかかっていないのだ。

さらに遠くアンドロメダ座の銀河(*3)までの距離は 250 万光年で光のスピードで航行したとしても、250 万年かかるはずであるが、相対論的時間の遅延効果により、驚くなかれ船内時間でたったの 15 年で到達するのである。面白いことに遠ければ遠いほど到達するのに費やす時間は想像するよりも

ずっと少なくてすむ。

これは何を意味するのであろうか。1gで加速する宇宙船に乗り込めば、人は寿命がつきる前に宇宙の果てにまで到達することができるということなのである。上記教科書の計算によれば、25年もあれば、地上から見えている星なら何処へでも行きつくことができるのだ。筆者もあまりのことに、いまだに信じられないのだが、条件がそろえば、以上のことは実現可能、決してサイエンス・フィクションではないのだと本物のサイエンスは主張するのである。

(*1)

アイザック・ニュートンがプリンキピアを書いていたとき、かれは微分法、積分法を独自に創案し、すでによくわかっていた。しかしながら、かれは一貫して図形を細分して幾何学的に問題を解決するという方法を採用した。微分方程式を解くことによって、たとえば太陽のまわりを回る火星の軌道を決定することができる。その方が簡単でエレガントなのだが、問題はその計算を理解できる科学者が（ライブニッツ以外？）いなかったことである。特殊相対論は一般相対論に含まれるものであるから、一般相対論ですべて解けば良いのであるが、どこまで特殊相対論で解決できるか考えておくことは、それなりに意義があると思われる。

1秒間に1回転する円盤を考えてみよう。この円盤の直径が10万kmであったとして1秒間に1回転させれば、その外縁のスピードは光速を超える。相対論によれば、この世に光速を超えるものはない筈なので、この円盤はどうなるのであろうか。このような問題は特殊相対論では手におえないと思われる。

(*2)

松田卓也、木下篤哉「相対論の正しい間違え方」（丸善出版）

(*3)

アンドロメダ銀河は、秋の夜空をかざるアンドロメダ座にある美しい銀河である。みかけの大きさは月ほどもある巨大な銀河なのである。アンドロメダ銀河は、われわれの天の川銀河よりも大きく、超スピードで天の川銀河に近づきつつある。

(*4)

このまま加速し続ければ、宇宙船は α ケンタウリのそばを超スピードで通過するか、運がわるければ激突して宇宙船は消え去ることになる。 α ケンタウリにソフトランディングするなら、航行の途中で加速を逆に切り替えなければならない。そのばあい、航行時間は12年となり、兄の時計によれば7.2年経過したことになる。

北野線の古刹２・平野神社

秋の平野神社は寒々として、人の姿も少なく寂しさの漂う神社でした。矢張り花曇りを背景にした桜満開の平野神社は美しい。唯、平野神社には秋に開花している桜木があり、枝々に寂しげに数輪の桜花を付けています。

桜の原産地はネパールです。秋にカトマンズのホテルで満開の桜を目にして驚きました。ネパールと日本の友好関係を祝って、当時の国王から贈られたネパール桜を伊豆熱川に初冬に見に行った経験もあります。平野神社の桜が、ネパール桜かどうかは分かりません。

平野神社は伊勢神宮・春日神社に肩を並べる程に由緒ある格式高い神社です。人気は隣接した北野天満宮の方が高く、観光客が意識して平野神社を参拝することは多くありません。平野神社は天満宮の西北に位置し、紙屋川（天神川）として開削された「御土居」の越えた処にあります。所謂、洛外になります。京都庶民にとって、古くから。“桜の平野”として人気があり、“梅の北野”と対比して愛でられていました。

延暦 13 年（794 年）。桓武天皇の命で現在地に、四柱の祭神「今木神（染色手芸）」「九度神（竈、台所）」「古開神（斎火）」「比賣神（炊くことを教えた）」が祀られたことから始まりました。祀られている四柱は、庶民の生活に深く関わった神々です。かつて庶民の家々の竈から立ち上る煙の様子を見て、免税にした仁徳天皇の逸話がありますが、中世期頃には平野神社の祭神は、仁徳天皇であることが広く信じられていました。

余談です。宮中の食に関わる話です。『延喜式』の「内膳司式」によると、天皇に食を供する竈には「平野・庭火・忌火」の三竈があります。「庭火御竈」は平時の食膳、「忌火御竈」は祭神の食膳、「平野御竈」は健康・吉祥を司る食膳、と言うことは、平野神社四柱が宮中と深い関わりがあったことを物語っています。一般の家産では“おくどさん”として台所を守る氏神です。

一昨年（2013年）の春、境内東に立つ鮮やかな大きな赤い鳥居を潜って、境内に入りました。参道の石畳が楼門まで伸びています。参道の両側に続く桜樹は満開です。夜になると灯の入る背の高い赤い灯籠が連なっています。妖艶な夜桜が見られるかも知れません。

楼門を入ると「接木の拝殿」です。“接木”の意味はわかりません。拝殿は入母屋造りの屋根を頂き計六本の柱で支えられ、かつての大相撲の土俵櫓の形状をしています。屋根の軒には、模刻図ですが、江戸時代 寛永年間に活躍した開北友雪の描く「三十六歌仙」が見られます。

本殿は、様式的に「平野造り」「比翼春日造り」と言われています。奥に横一列四殿が並び、それぞれの屋根に、“鯉木”を載せている姿は壮観の一言です。本殿は東に向いて建てられており、拝殿・楼門・大鳥居と一直線上にあります。北野天満宮とは様式が異なります。本殿の右手に見事な枝垂れ桜が満開の花々を咲かせています。背が高からず低すぎず、正面から枝垂れ桜が

目にできます。記念撮影にはもってこいの桜です。

平野神社は枝垂れ桜の他にも、珍しい桜を眺めることができる稀有な場所です。“魁桜”、“寝覚桜”、“胡蝶”、“嵐山桜”、“虎の尾”、“平野妹背”、の銘木があると聞きましたが、残念ですが語彙数不足で説明できません。

平野神社が桜の名所として人口に膾炙したのは、やはり天皇が関係しています。花山天皇が桜の満開時分に催された祭に行幸して有名になった逸話、寛和元年（984年）。同じ花山天皇が自らの手で桜木を植えて有名になった逸話、の二つが語り伝えられています。年号がある逸話の方が信頼が高い気がします。

特別に平野神社には「桜園」が設けられています。この園では500本の満開の桜木が見られます。最盛期には出店も並びます。京都中の「テキ屋」が出揃う程に壮観です。いつも酒に酔わずに、桜に酔わずに、人の多さに酔って、平野神社を後にしていました。

京福 北野線沿線の古刹を訪ねるために、北野白梅町から電車に乗りました。

文化講座・講演会

奈良興寺文化講座 2019年2月21日（木曜日）

午後5時半～6時半：第一講

「興福寺学侶の春日赤童子信仰」

興福寺執事長 多川良俊

午後6時40分～7時・・・心を静める

午後7時～8時：第二講

連続講話・「奈良・祈り・心」

興福寺 貫首 多川俊映

会場：（学）文化学園 文化服装学院内

受講料：500円 先着200名

（JR新宿駅南口、小田急線、京王線各新宿駅から8分、都営新宿線新宿駅3分）

第103回 新三木会 講演会のご案内

1. 日時 2月21日（木）13時～ スターホール

2. 講師 冨坂 聡氏 拓殖大学教授 北京大學中退

3. 演題 『米中経済戦争と習近平の闘い』

4. 申込 Eメール：shinsanmokukai@gmail.com

電話：070-6994-0137 フルネーム・卒年・所属（紹介者）記入。

天地シニアネットワークで申し込んでください

5. 会費 一般2千円、 婦人千円、学生（院生）無料、茶話会ありません

6. ホームページ <http://jfn.josuikai.net/ircle/shinsanmokukai/>

7. 今後の予定

第 104 回 3 月 21 日 (木) 『アメリカ「トランプの国」はいつまで
続くか』

渡辺 靖氏 慶応義塾大学 SFC 教授 アメリカ研究 オリオンルーム
第 105 回 4 月 18 日 (木) 『日本の社会主義一戦前の思想・運動と
群像』

加藤哲郎氏 一橋大学名誉教授 政治学 オリオンルーム

商品情報

徳島県・吉野川市・美郷 <東野リキュール製造所>

NO	商品名	(特徴)	製造元	価格
1	梅酒 白竜峡	酸味を抑える女性向	東野リキュール製造所	@ 2500円
2	高越山	渋みが少しあり、酒好きな方向き		@ 2500円
3	紅竜峡	ロゼワインを彷彿させる		@ 2500円
4	ホーホケキョ	特選		@ 3000円

ご注文は、東野リキュール製造所へ直接お申し込みください。天地シニアで知りましたと伝えてくだされば結構です。

代金は、消費税と送料(500円)がプラスになります。お支払いは、商品受け取り時、宅配業者へ代引きで(手数料なし)直接お支払い下さい。

東野リキュール製造所：電話・0883-43-2216
FAX・0883-43-2212

日本緑茶センター 商品

商品名	市価	天地幹旋価格
ハーブティー		
POMPADOUR ドイツ商品 (1.5g x 10ティーバッグ) <ペパーミントリーフ><カモミールフラワー><ローズヒップ&ハイビスカスフラワー><ルイボステイヤー・ストレート>	本体 @ 300円	@ 230円
紅茶		
ドイツのティーメーカー・テークンネ社製 オリジナルブランド紅茶シリーズ (1.75g x 20TB) <ダージリン><アールグレイ><イングリッシュブラックファースト>	@ 500円	@ 380円
日本緑茶センター：ティーブティック (2g x 10TB) <セイロン><ローズヒップ&ハイビスカスフラワー><ピーチアプリコット><ローズティー><ブルーベリー>	@ 350円	@ 280円

マテ茶（南米のお茶・世界三大飲料の一つ・パラグアイ）		
ティーブティック・1.5g×10TB ＜マテ・グリーン＞＜マテ・ブラック＞	@380円	@300
アルガンオイル（92g）（モロッコ特産） ノンロースト・タイプ（食用・化粧両用）	@2000円	@1500円
オリーブオイル [ナフィサ]（229g） モロッコ、名門農園の製品。高級。 赤（インテンス）：ドライ：青（デュース）：スイート	@1800円	@1400円
ジェーン・クレージーソルト（113g）	@627	@500円

お申し込みは、メール、または電話で天地事務局まで。お申込み金額が
4千円以上の場合、送料はいりません

事務局

＜投稿＞＜図書のおすすめ＞を歓迎します。

＜プリント版・郵送＞

メール版を編集してプリント版を月に1回発行郵送しています。

お申込みくださればお送りします。一応、実費として1月350円（4200円/年）をいただいておりますが、強制するものではありません。

＜振込先＞振込先：三井住友銀行「神田支店」（普通）7871532
（口座名）テンチシニアネットワーク

天地シニアネットワーク・テーブル・486（新春）号

発行：2019年1月15日

天地シニアネットワーク事務局（津田 孚人）

〒116-0001 荒川区町屋3-2-1

ライオンズプラザ町屋703

メールアドレス：tentisenior06@gmail.com

電話・FAX・03-3819-7651